

2017年12月6日

関西電力株式会社
社長 岩根茂樹 様

反原発自治体議員・市民連盟
共同代表 佐藤英行 野口英一郎
福士敬子 武笠紀子

高浜原発の稼働停止し、大飯原発は再稼働せず、

全ての原発を廃炉することを求めます。

～関西電力の原発事故対策は不備です～

貴社・関西電力は、高浜原発3・4号機を稼働させ、さらに、大飯原発の再稼働も行おうとしています。福島原発過酷事故の実態を知った周辺自治体住民から再稼働反対の声が高まっています。

【10月の質問からの判断】

- 1、 関西電力は、福島原発過酷事故の原因が何であるかに関わらず、高浜原発を稼働させ、大飯原発の再稼働を目指している。
- 2、 想定外の大地震・大津波が来た場合には、関西電力の原発は耐えきれず爆発する。
- 3、 若狭湾の15機のどの原子炉が爆発した場合でも、関西電力の職員は各原発の持ち場を離れない。
- 4、 原発周辺住民に対して、同時多発の原発事故の可能性については、関西電力から説明する必要は無いと考えている。
- 5、 関西電力の原発爆発で、琵琶湖が放射能汚染される可能性が高いが、琵琶湖の放射能汚染防止対策は考えて無い。
- 6、 関西電力には、ミサイルが原発周辺に落下した場合の対策は無い。
- 7、 関西電力は原発過酷事故の場合の収束費用、賠償費用は用意していない。

今日までご回答がないので、貴社関西電力の原発事故対策は以上の通りと判断いたしました。その上での別の質問です。

東京電力からは毎回、文書でご回答をいただきますが、貴社関西電力では、文書での回答はしない方針とのことですので、後ほど、電話しますのでご回答の用意をよろしく願います。

【質問】 原発周辺自治体住民の中から、再稼働反対、運転延長反対の声が高まっていること、関西電力の電気消費地からも原発反対の声が上がっていることをご存知ですか？

反原発自治体議員・市民連盟 武笠
090-9365-9608